



つながる
墨田区

墨田区（報道）

平成30年9月6日

～新しい障害者アートの波“みんな北斎プロジェクト”今年の企画は！？～

オリンピックをテーマにしたアニメ制作ワークショップを実施！

本日、区立墨田中学校(向島4-25-22 杉浦伸一校長)で、みんな北斎プロジェクト「すみだでアニメピック」～キラキラキャラづくり～を開催した。これは、平成28年に開館したすみだ北斎美術館の開館記念事業の一環として障害のある方が持つ多彩なパワーを、北斎の生誕地である墨田区から発信することを目的に実施するアートプロジェクト。3年目を迎えた今年のテーマは「すみだでアニメピック」。区内の障害のある方が、区内各所でキャラクターやテーマソングなどを制作するワークショップを行い、そこで生まれたキャラクターたちがオリンピック・パラリンピックのオリジナル競技に挑戦する短編アニメーションを作る。

午前8時50分、墨田中学校の特別支援学級の生徒4名(男3名、女1名)が集まりワークショップがスタート。講師となったのは、パロディーを中心にした新しいタイプのギャグ漫画家として注目を浴びている、しりあがり寿さん。まず始めに、「つよい」「はやい」「まほうつかい」といったイメージからキャラクターを想像し、しりあがりさんに即興でキャラクター例を作成してもらった。その後、生徒たちで自分なりのキャラクターに仕上げ、決め台詞や名前などの細かい設定を決めた。最後に、それぞれのキャラクターのかけ声を収録して午前11時にワークショップ終了。参加した生徒は「自分の頭の中のイメージを描くのは難しかったけど、その絵がアニメになって動くのは楽しみ。」と話していた。なお、明日7日(金)には、区立本所中学校で同内容のワークショップを実施する。

今後、墨田小学校と第二寺島小学校で特別支援学級児童を対象にしたワークショップを行い、アニメのテーマソングを制作する。その後、すみだ北斎美術館で実施するワークショップで観客キャラクター作りを行い、完成した作品を来年2月にすみだ北斎美術館で上映する予定。



キャラクターイメージを制作している様子



キャラクターのかけ声を収録している様子

<みんな北斎プロジェクトについて>

みんな北斎プロジェクトは、北斎が生きた墨田から、新しい障害者アートの波を起こそうと、すみだ北斎美術館開館記念プロジェクトとして平成 28 年度にスタートし、今年で 3 年目を迎えた。1 年目は墨田区主催で全国障害者アート公募展「みんな北斎」(応募作品総数 1,514 点、墨田区からの応募 103 点)を、2 年目は障害のある人のアート活動においてはまだ例の少ないアニメーションを制作し、すみだの名所や名物を紹介した。今年度は、2020 年(平成 32 年度)の東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けた墨田区内のさらなる気運醸成と、障害のある人が区内で文化・表現活動できる機会を増やし、活躍の環境と循環をつくることを目的として、区内施設でアートワークショップを実施する。